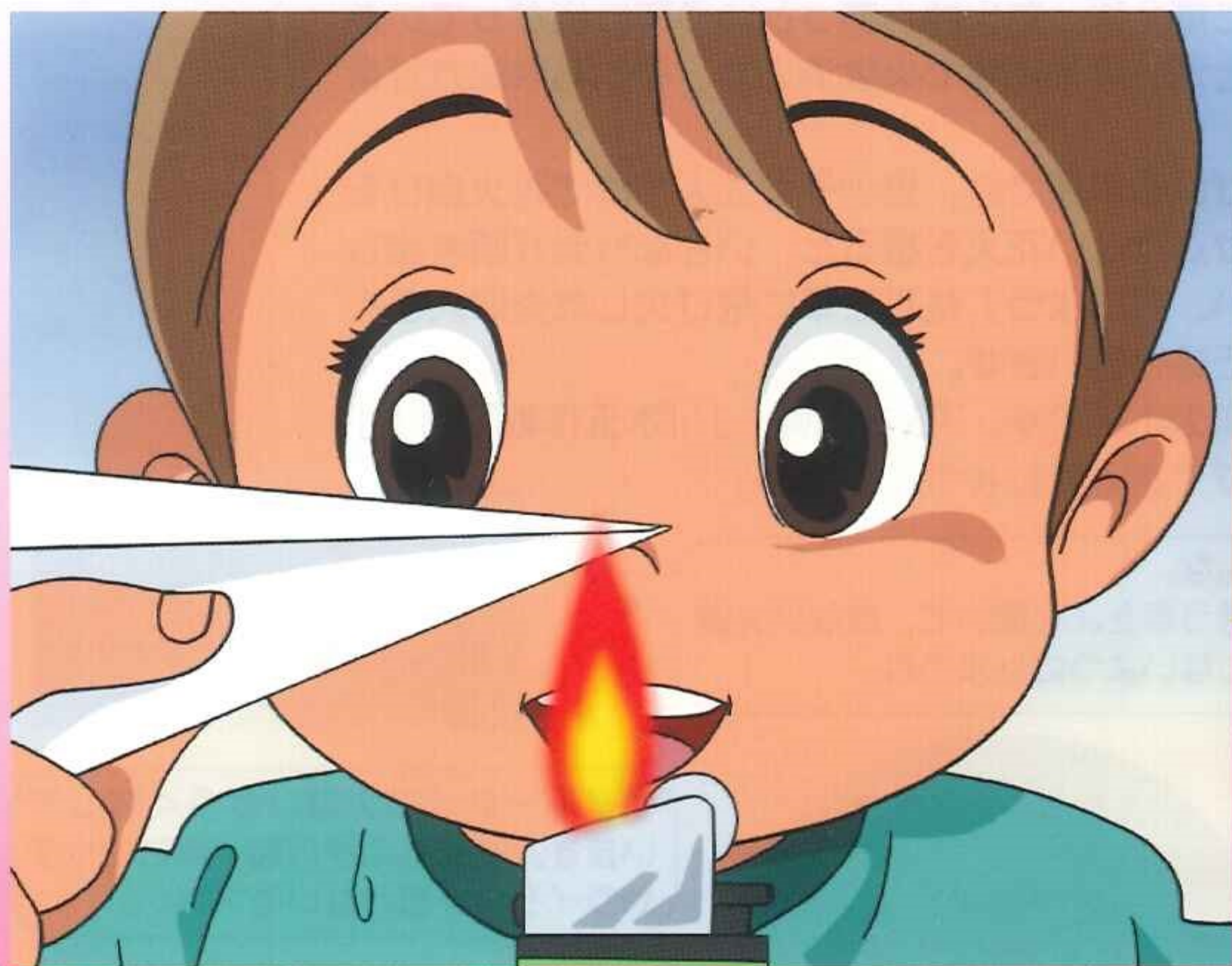


全国消防長会 推薦
文部科学省選定

おやこ
カルガモ親子の



ひ よ う じ ん
火の用心



【製作意図】

消防庁のまとめによると、過去三十年間に発生した火災の原因は、放火・タバコ・ガスコンロ・火遊び・たき火が順位の変動はあるものの、常に上位五位までを占めています。なかでも「火遊び」は火・明かり・炎に興味を持ち始める二歳から六歳までの幼児による火遊び火災がほとんどです。

幼児に火・火災の恐ろしさを理解させ、幼児の火遊び火災を減らすために、カルガモ親子の可愛いキャラクターを使い分かりやすいアニメーションで、自然に防火の知恵を学べるように描いています。

◆カラー作品・13分

(映) 有限会社 博映商事

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】 <http://hakuei-shoji.jp>

【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp

おやこ ひ ようじん カルガモ親子の火の用心

◆ あらすじ ◆



カルガモ親子が草原でごはんを食べていると、カルガモ消防隊がやってきました。「火の用心、火の用心。火は怖いよ、危ないよ。火の元には気を付けましょう…」カッコいいカルガモ消防隊に、ピヨ太はうっとり。火の始末を確認すると母さんカルガモは、食料を探しに町へ飛び立っていきました。子ガモたちは草原でお留守番です。



母さんカルガモが町を飛んでいると、マンションの窓から火遊びをしている子どもの姿が見えました。紙飛行機にライターで火をつけて飛ばしています。カーテンに燃え移った火は、あっという間に広がっていきます。カルガモ消防隊と消防車の活躍で火は消えて、子どもは助かりました。

その頃、子ガモたちがいる草原では、男の子が二人だけで花火遊びをしていました。なかなか点かない花火を振ると、いきなり炎が噴き出しました。「あっ、やばい、逃げよう」枯れた草に飛び火した炎は大きくなって、男の子と子ガモ達を襲います。

さあ、カルガモ消防隊の出動です。「放水準備！」「水玉作戦開始！」恐ろしい炎を消すことができるでしょうか？

よい子のみんな。
お家の人の言う事をよく聞いて、危ない火遊びは絶対にしないようにしようね。



風の強い火は、花火をするのはやめましょう。花火をする場所では、まわりの安全にも気を配りましょう。



花火をするときは、必ず大人が付き添いましょう。水の用意をして、正しく遊ぶようにさせましょう。

カルガモ消防隊長



ライターによる火遊びが多くなっています。子どもの手の届く所にマッチやライターを置かないで下さい。



子どもだけを残して外出しないようにしましょう。火の点いた器具に興味を示して、危険な使い方をする場合があります。



(映) 有限会社 博映商事

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】 <http://hakuei-shoji.jp>

【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp